

## 第5学年 外国語科学習指導案

日 時 令和5年 月 日 ( ) 校時  
指導者 HRT  
JTE  
場 所 小学校 5年生教室

- 1 単元名 「Who is your hero?」未来の自分へビデオメッセージ ～あこがれと時を越えて～  
(参照：NEW HORIZON Elementary 5 Unit8)

### 2 児童について

本校では、1年生の時から毎週1時間、外国語活動を行っている。その中で、簡単な英語でのあいさつや色・数字等の英語表現に触れてきている。

本学級の児童は、素直で前向きに活動し、外国語科の学習に対しても意欲的に取り組んでいる。授業中は、ALTの話す英語をよく聞き、知っている表現や話し手の表情、ジェスチャー等から内容を理解しようとする姿が見られる。しかし、中には英語を使ってコミュニケーションをとることに消極的な児童もいる。

そこで、これまでに新しく赴任された先生方の自己紹介を英語で聞き取ったり、タブレット端末を活用した自己紹介を英語で行ったりした。誕生日の言い方を学習する際には、何度も発話を繰り返す等、意欲的に取り組めるようになってきた児童も見られた。また、「夢の時間割」を作成する単元では、実際にその時間割を実行できたことから大きな達成感を味わうことができた。

児童には、間違いを恐れず、英語で言ってみようと思う気持ちをもてるようになってほしい。そのために、相手の顔を見てやりとりし、自分の思いを積極的に伝える必要のある活動を組み立てたり、Small Talkの時間を多く取り入れ、既習表現を繰り返し使ったりしている。また、タブレット端末の録音機能を活用し、ALTや教師が手本を録音した「My dictionary」を作成している。自分だけの音声辞書は、児童が分からない表現があった際に、再度確認ができるため、児童が英語を表現する際の手助けとなっている。このような取組を続けてきたことで、新しく出会う表現を取り入れ、自分の言いたいことを伝えようとする姿が見られつつある。

### 3 単元について

本単元では、“be good at～.” “He/She is～.”等の表現を使って、自分や友達の得意なことを伝え合ったり、自分のあこがれの人を発表したりする。友達や教師のあこがれの人についての話を聞き、自分のあこがれの人を紹介することを通して、自分の気持ちや考えも伝えられるようになることをねらいとしている。あこがれの人を紹介する時は、動画やテレビで見ている有名人だけでなく、国語科や道徳、総合的な学習の時間や特別活動等と関連付け、「こんな人になりたい」「この人といると笑顔になれる」など、身近な人の中にもあこがれの人物がいることを意識させたい。

第1・2時では、教科書の内容を理解し、得意なことを表す表現が分かるようにする。第3時では、自分の得意なことや状態・気持ちについて、グループで伝え合うようにする。第4時では、自分のあこがれの人について、得意なことや状態・気持ちを考え、タブレット端末を使って紹介文を録音し、新しい表現に自信をもって伝えられるようにする。第5・6時には、未来の自分に、今どんな人にあこがれ、近付くためにどうしたいと考えているか伝えられるように、得意なことや自分の考え・気持ちなどを含めて話せるようにする。単元終末では、未来の自分へビデオメッセージを作成する。今、自分があこがれている人の得意なことについて紹介し、未来の自分へのプレゼントになるようにする。また、繰り返し発音してきた英文を文字にし、書き写して残すことで、文字は時を越え、今の自分と未来の自分を文字でつなぐことができるという素晴らしさを体験させ、書くことに興味をもたせたい。

本単元を通して様々な分野で活躍する人物に対する興味や関心を高めるとともに、今後、自分がどのように行動すれば、あこがれの人に近づいたり、越えたりすることができるのかも考えながら学習活動に取り組めるようにしたい。そして、自分や友達のことをより深く知り、思いを伝える楽しさや喜びを感じさせたい。

### 4 単元の目標

未来の自分に伝えるために、今、どんな人にあこがれているのかを友だちに伝えることを通して、あこがれの人得意なことやできることなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 I'm good at～. He/She is good at～. He/She is～.など自分や第三者の得意なことや状態・気持ちを表す表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 自分や第三者の得意なことや状態・気持ちを表す表現を聞き取る技能を身に付けている。</p>	本単元では評価しない。	本単元では評価しない。
話すこと (発表)	<p>〈知識〉 I'm good at～. He/She is good at～. He/She is～.など自分や第三者の得意なことや状態・気持ちを表す表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 I'm good at～. He/She is good at～. He/She is～.など自分や第三者の得意なことや状態・気持ちを表す表現を用いて話す技能を身に付けている。</p>	未来の自分に伝えるために、あこがれの人の得意なことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話している。	未来の自分に伝えるために、あこがれの人の得意なことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話そうとしている。

6 単元の指導と評価の計画（7時間）

時	目標（◆）と主な活動（○）	評 価		
		知 技	思 判 表 断 表	態 度
		◎ 評価規準（評価方法） ※ 指導・学習改善のための評価（方法）		
1	<p>◆ あこがれの人についての話を聞き、おおよそ理解するとともに、得意なことを表す表現を知り、聞き取ることができる。</p> <p>○ 歌 “I Like You”</p> <p>○ ALTのあこがれの人についての話を聞き、単元終末に向けての見通しをもつ。</p> <p>○ 【Starting Out】 No.5～No.8 (p.75)</p> <p>○ 【Do you know?】 (p.80、81)</p> <p>○ He/Sheチャンツ</p>			
		※本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。		
2	<p>◆ あこがれの人についての話を聞き、おおよそ理解するとともに、得意なことを表す表現を知り、聞き取ることができる。</p> <p>○ 歌 “I Like You”</p> <p>○ Small Talk（好きな教科）</p> <p>○ チャンツ</p> <p>○ 友達の得意なことなどについて聞き取る。</p> <p>○ 【Let's Try③】 (p.77)</p> <p>○ JTEのあこがれの人の話を聞く。</p>			
		※本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。		
3	<p>◆ 相手の得意なことについて聞き取ることができる。</p> <p>○ 歌 “I Like You”</p> <p>○ Small Talk（得意な教科）</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Who am I?クイズ</li> <li>○ グループで自分の得意なことについて話したり、聞いたりする。</li> </ul>	聞			<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 第三者の得意なことや状態・気持ちについて聞き取っている。 (行動観察・振り返りシート)</li> </ul>
4	<p>◆相手に知ってもらうために、自分のあこがれの人について、得意なことや状態・気持ちを話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌 “I Like You”</li> <li>○ Small Talk (自分の性格)</li> <li>○ 【Let's Try④】(p.77)</li> <li>○ タブレット端末を使って、あこがれの人についての紹介文を録音する。</li> </ul>	発			<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ あこがれの人の得意なことや状態・気持ちを表す表現について理解し、話している。 (行動観察・ワークシート・振り返りシート)</li> </ul>
5	<p>◆未来の自分に伝えるために、あこがれの人について、得意なことや自分の考え・気持ちなどを含めて話すことができる。</p>				
本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌 “I Like You”</li> <li>○ Small Talk (できること)</li> <li>○ HRTのモデルを見る。</li> <li>○ 前時の録音を聞いて、発表の仕方や内容について考え、付け加え、話す。</li> <li>○ どのように修正し、付け加えたのかを共有する。</li> </ul>	(発)	発		<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 未来の自分に伝えるために、あこがれの人の得意なことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話している。 (行動観察)</li> </ul>
6	<p>◆未来の自分に伝えるために、あこがれの人について、得意なことや自分の考え・気持ちなどを含めて、よりくわしく話すことができる。</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌 “I Like You”</li> <li>○ 今の自分があこがれている人について、自分の考えや気持ちなどを含めて話し、ビデオメッセージに残す。</li> </ul>	発	発		<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 未来の自分に伝えるために、あこがれの人の得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。 (行動観察・ワークシート)</li> <li>◎ 未来の自分に伝えるために、あこがれの人の得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。 (行動観察・振り返りシート)</li> </ul>
7	<p>◆自分のあこがれの人が得意なことについてまとめ、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、考えや気持ちを書くことができる。</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌 “I Like You”</li> <li>○ Small Talk (得意なこと)</li> <li>○ ワークシートに自分のあこがれの人について発表したことを書く。</li> <li>○ 前時の発表をDVDにし、ワークシートと一緒に成人式まで保管する。</li> </ul>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>※本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。</p> </div>

7 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標（第5学年）

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
ゆっくりはっきりと話されれば、短い話の概要を捉えることができる。	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	自分や相手のできることやできないこと、憧れたり尊敬したりする人などについて、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

8 本時の活動（第5時）

(1) 目標 未来の自分に伝えるために、あこがれの人の得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。

(2) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動		指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法）
		HRT	JTE	
3分	・挨拶をする。 ・歌を歌う。 “I Like You”	・全体に挨拶をする。 ・児童と一緒に歌う。		・英語で挨拶し、楽しい授業の雰囲気を作る。
5分	・Small Talk (できること)	・「できること」について話し、モデルを示す。		・既習表現を活用しながら、考えや気持ちを伝え合えるように支援を行う。
5分	・HRTのモデルを聞き、本時のめあてをつかむ。	・HRTの紹介に反応を返しながらかく。		・HRTが発表する姿を示すことにより、本時のめあてをつかむことができるようにする。
<b>未来の自分に伝わるように、あこがれの人について話そう</b>				
10分	・前時までの録音を聞き、詳しく紹介できるようにする。	・個別に言葉かけを行う。	・英語のモデルを示す。	・語句や表現に課題を抱えている児童には、一緒に確認することにより、語句や表現を用いて適切に紹介できるようにする。
5分	・HRTやJTEの話聞き、加筆する。	・単元における目的・場面・状況を確認する。 ・教科書や動画を見て、どのような話をしていたかを確認する。	・紹介の内容について、よい点（語句や表現）を話す。	・「未来の自分へ」という目的を全体で理解することにより、何のために紹介しているのかを再確認することができるようにする。
7分	・友達と紹介を行う。	・成長した、変容した点を問う。	・よかった点を児童に伝え	

		○ 前回の紹介とどこが変わったか。 ○ 変えてみて、どうなったか。	る。	◎ 未来の自分に伝えるために、あこがれの人の得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。 (行動観察)
6分	・ 自分のあこがれの人を想起しながら修正し、録音する。	・ 児童の様子に応じて、個別に言葉かけを行う。		・ 児童が付け足したい言葉やイメージを言語化できるようにする。
3分	・ 本時の活動を振り返る。	・ 振り返りの観点を示し、感想を書く。	・ 本時の活動についてよかったことや感想を話す。	・ 児童の活動のよかった点を伝えることで、今後の活動への興味・関心が高まるようにする。
1分	・ 挨拶をする。	・ 次時の活動を知らせ、全体に挨拶をする。		

### (3) 指導・学習改善につなげるための見取りと指導

#### 「話すこと[発表]」の「思考・判断・表現」

「おおね満足できる」と判断される状況	未来の自分に伝えるために、自分のあこがれの人の得意なことについて、言葉を付け足すなど、自分の考え・気持ちを含めて話している。
「おおね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	中間指導の際に、目的を確認するとともに、タブレットを用いて音声を確認させる等、個別支援を行う。